

行雲流水

No.107 令和3年10月5日発行

本校は、歌声の灯を絶やさない、歌声を楽しもう

校長 寒河江 正人

本校は、**本日より25日間**をかけて、**歌声を削り上げる。**

市内には、合唱をとりやめた中学校もあるが、**本校は現時点では、歌声の灯を絶やさない。**

ただし、昨日も伝えたとおり、「**感染対策の徹底**」が大前提である。

絶対に感染クラスターを生じさせないための安全管理が必須条件である。

したがって、「**感染リスクを高める**」と想定されることは、**極力軽減**を図らねばならない。

まず、音楽科主任の齋野佳子教諭の指導の下、文科省が発出した「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校において、合唱等を行う場面での新型コロナウイルス感染症対策の徹底について（通知）」並びに、一般社団法人「全日本合唱連盟」が策定した「合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン」に基づき、安全に活動する。

練習・演奏時のマスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、換気の徹底などはもちろん、**コンクール形式の競争による練習の過度の加熱化を回避**する。

全校を挙げての「歌声の交流の場」とする。

ねらいは、3つ。

「本校から歌声の灯を絶やさない。」

「合唱の楽しさ・ハーモニーの美しさをみんなで味わう。」

「学年・学級の枠を越えて、お互いの歌声の良さや努力を称え合える心を育てる。」

1学期に各学級で選んだ合唱曲を「みんなで大切に育て上げるプロセス(過程)」を通して、その楽曲のもつ世界観やハーモニーの美しさを味わい、共に削り上げる協働性を高める。

歌うことが得意な人も、苦手な人も、協力し合う心をもって、歌声を重ね合わせよう!

そして、**25日後**には、各学級で選んだ合唱曲を「**みんなでこんな姿に育て上げられた。**」

と胸を張って言えるようにしよう! お互いに誉め称えられるようにしよう!

さあ、**自分たちの学級の歌声を育てよう! 歌声を楽しもう!**